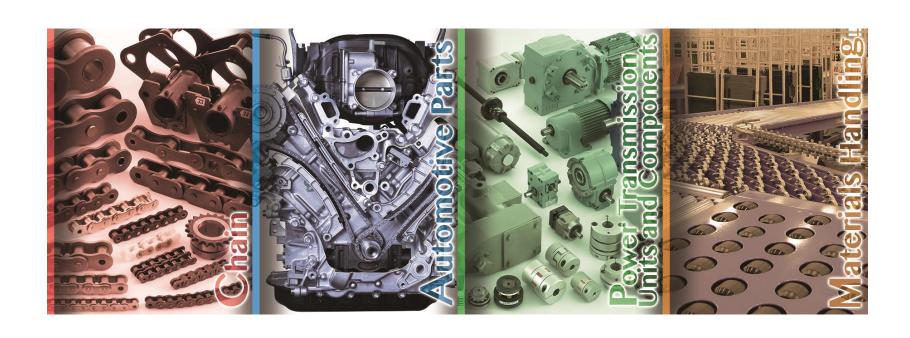




# 株式会社椿本チエイン 2018年3月期 第2四半期決算説明会



# 2018年3月期 第2四半期連結業績報告

注)本資料で表記する「2Q累計」は、当該連結会計年度における4月1日~9月30日、 「下期」は、同10月1日~翌3月31日を示します。

(海外子会社の一部は、上期:1月1日~6月30日、下期:7月1日~12月31日となります)



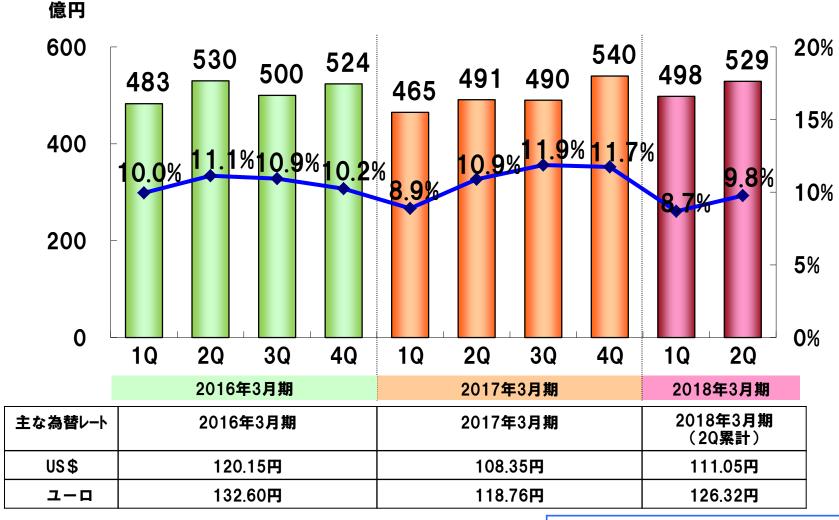
## 1. 2Q累計レビュー 連結決算ハイライト

■ 国内向けが業績をけん引、前年同期比で増収増益。 期初予想に対して、売上・利益とも上振れて着地。

		(単位:百万円)				
	2017年3月期	2018年3月期	前年同期比	期初予想比		
	20累計実績	20累計実績	増減率	予想値	増減率	
売上高	95,740	102,778	7.4%	100,000	+ 2.8%	
営業利益	9,490	9,500	0.1%	8,800	+ 8.0%	
営業利益率	9.9%	9.2%		8.8%		
経常利益	9,655	10,239	6.0%	9,100	+ 12.5%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,392	6,835	6.9%	6,300	+ 8.5%	
1株当り四半期純利益	34.17円	36.11円	_	33.28円	_	
<b>為替レート</b> (1US\$)	105.21円	111.05円	_	105.00円	_	
為替レート(1EURO)	118.05円	126.32円	_	113.00円	_	
自己資本比率	56.0%	58.7%	% 自己資本/総資産			
ネット D/E レシオ	0.04倍	-0.01倍	倍 (有利子負債-現預金)/自己資本			

# 2. 20累計レビュー 四半期毎連結業績の推移

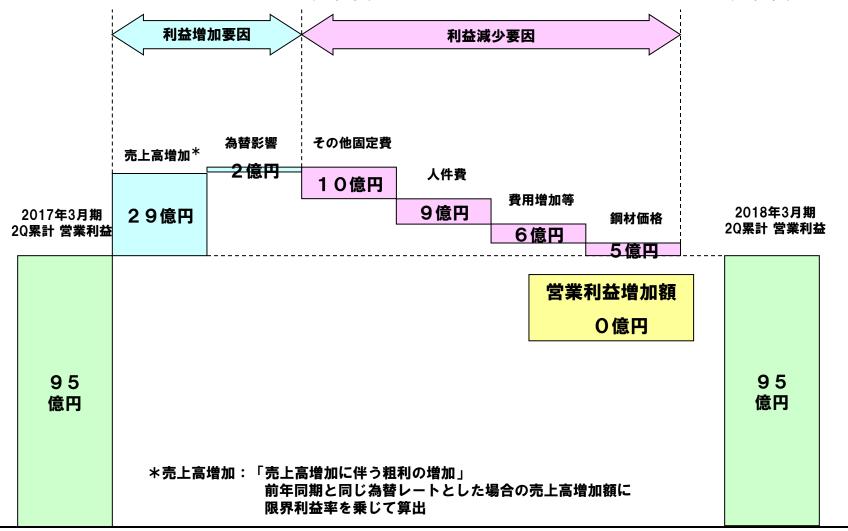
#### ■ 売上高、営業利益率の推移(連結)





## 3. 20累計レビュー連結営業利益増減要因分析

#### ■ 2017年3月期2Q累計実績 vs 2018年3月期2Q累計実績



※営業利益の実績値は四捨五入後の数値です。



# 4. 20累計レビュー 事業セグメント別業績

■ チェーン、精機が増収増益。マテハンは黒字転換。 自動車部品は増収も、償却負担の増加などにより減益。

(単位:百万円)

		2017年3月期	2018年3月期	2018年3月期 前年同期比		期初予想比	
		20累計実績	2Q累計実績	増減率	予想値	増減率	
	売上高 <sup>※注1</sup>	29,110	32,272	10.9%	30,700	5.1%	
チェーン	営業利益	3,065	3,712	21.1%	2,700	37.5%	
	営業利益率	10.5%	11.5%		8.8%		
	売上高 <sup>※注1</sup>	10,453	11,705	12.0%	11,100	5.5%	
精 機	営業利益	954	1,301	36.3%	1,000	30.1%	
	営業利益率	9.1%	11.1%		9.0%		
自動車部品	売上高 <sup>※注1</sup>	36,473	38,535	5.7%	38,700	<b>▲</b> 0.4%	
	営業利益	5,822	5,161	<b>▲</b> 11.3%	5,600	<b>▲</b> 7.8%	
	営業利益率	16.0%	13.4%		14.5%		
マテハン	売上高※注1	19,699	20,140	2.2%	19,700	2.2%	
	営業利益	<b>▲</b> 37	133	_	100	_	
	営業利益率	<b>▲</b> 0.2%	0.7%		0.5%		
その他 <sup>※注2</sup>	売上高 <sup>※注1</sup>	1,397	1,492	6.8%	1,500	<b>▲</b> 0.5%	
	営業利益	<b>▲</b> 25	<b>▲</b> 29	_	0	_	
	営業利益率	<b>▲</b> 1.8%	<b>▲ 2.0</b> %		0.0%		

※注1: 売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

※注2: 「その他」は、報告セグメントではありません。



# 5. 20累計レビュー事業セグメント別業績推移

#### ■ 売上高、営業利益率の推移

#### ●チェーン事業



#### <地域別>

・日本:需要が好調に推移し、増収増益。

・米州:カナダの需要が好調で、増収。

・欧州:需要好調で、増収増益。

・環インド洋:アセアンが堅調に推移。

オーストラリアは弱含み。

・中国:需要上向き、前年同期比で増収。

・東アジア:需要が好調に推移し、増収増益。

#### ●精機事業



#### <地域別>

・日本:需要が好調に推移し、増収増益。

・中国:需要上向き、前年同期比で増収増益。

・米州、欧州:規模は小さいながら、

堅調に推移。

・環インド洋:タイの子会社を新規連結 (第1四半期より)。

単位:億円 、



# 5. 20累計レビュー事業セグメント別業績推移

#### ■ 売上高、営業利益率の推移

#### ●自動車部品事業



#### <拠点別>

- ・日本:国内自動車生産減少の影響で減収減益
- ・米国:日系、米系メーカー向けとも販売減少。
- ・メキシコ:需要好調で増収。
- ・欧州、タイ、韓国:好調を維持し、増収増益。
- ・中国:需要好調も、案件採算性の悪化等で減益。

#### ●マテハン事業



- ・新聞業界向けがやや減少も、 流通業界向けが大幅に増加(いずれも日本)。
- ・工作機械向けコンベヤ:日本、米国が堅調。
- ・粉粒体搬送設備:需要は横ばいも増益



# 6. 2Q累計レビュー 所在地別業績

				(単位:百万円)
		2017年3月期	2018年3月期	前期比
		2Q累計実績	2Q累計実績	増減率
	売 上 高 <sup>※注</sup>	25,070	25,455	1.5%
米 州	営業利益	2,673	1,659	<b>▲</b> 37.9%
	営業利益率	10.7%	6.5%	
	売 上 高 <sup>※注</sup>	11,796	12,162	3.1%
欧州	営業利益	198	58	<b>▲</b> 70.4%
	営業利益率	1.7%	0.5%	
	売 上 高 <sup>※注</sup>	6,084	6,919	13.7%
環インド洋	営業利益	843	940	11.6%
	営業利益率	13.9%	13.6%	
	売 上 高 <sup>※注</sup>	8,146	10,115	24.2%
中 国	営業利益	230	396	72.1%
	営業利益率	2.8%	3.9%	
	売 上 高 <sup>※注</sup>	4,175	5,241	25.5%
韓国・台湾	営業利益	160	493	207.7%
	営業利益率	3.8%	9.4%	
	売 上 高 <sup>※注</sup>	56,107	59,598	6.2%
日 本	営業利益	4,627	5,197	12.3%
	営業利益率	8.2%	8.7%	

※注 : 売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

<主な実績レート>

'18/3 2Q累計: US\$=\frac{1}{1}.05, EURO=\frac{1}{2}6.32, Can\frac{1}{2}=\frac{1}{8}5.58, A\frac{1}{2}=\frac{1}{8}5.53, THB=\frac{1}{3}.2393, NT\frac{1}{2}=\frac{1}{3}.66, RMB=\frac{1}{3}16.38, WON=\frac{1}{3}0.098, MXN=\frac{1}{3}5.79

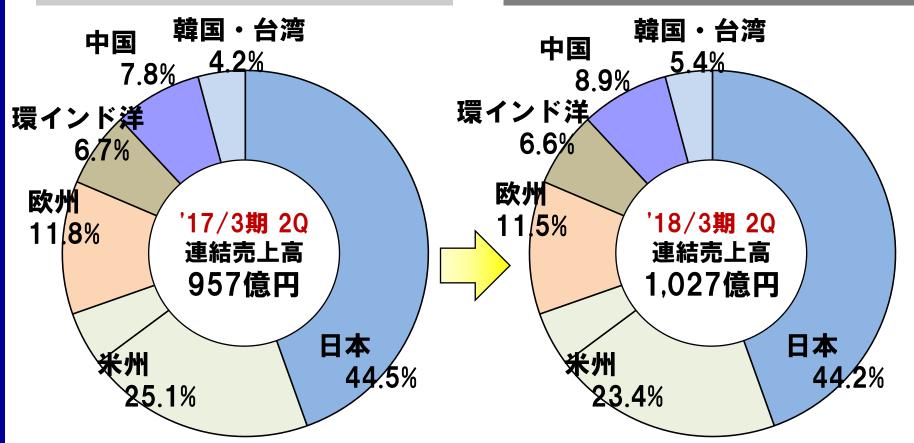


## 7. 20累計レビュー 地域別売上高比率

#### 2017年3月期 第2四半期

海外売上高\*比率:55.5%

2018年3月期 第2四半期 海外売上高\*比率:55.8%



※売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。



# 2018年3月期 通期連結業績予想

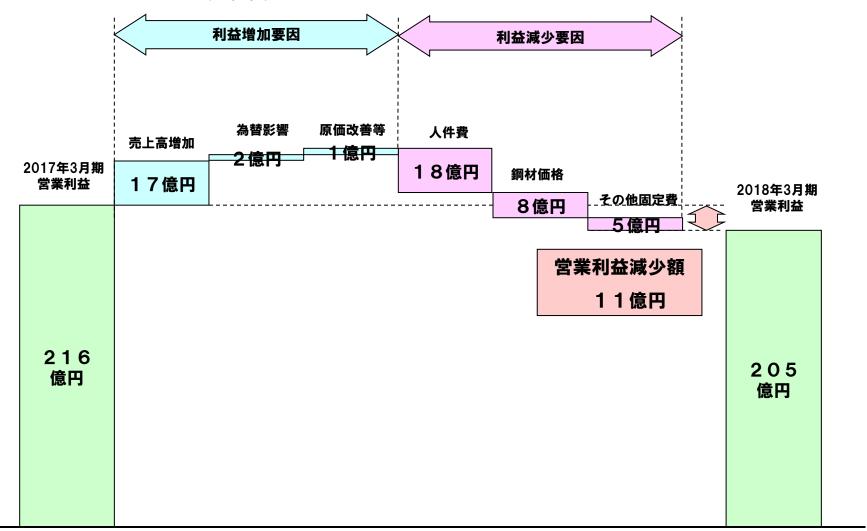
# 1. 18年3月期 通期連結業績予想

■ 上期業績はやや振れたものの、通期業績予想は据え置き。

		(単位:百万円)				
	2017年3月期		2018年3月期		前期比	
	通期実績	2Q累計実績	下期予想	通期予想	増減率	
売 上 高	198,762	102,778	102,222	205,000	3.1%	
営業利益	21,647	9,500	11,000	20,500	<b>▲</b> 5.3%	
営業利益率	10.9%	9.2%	10.8%	10.0%		
経常利益	22,004	10,239	10,761	21,000	<b>▲</b> 4.6%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,596	6,835	7,665	14,500	▲0.7%	
1株当たり当期純利益	78.03円	36.11円	-	76.61円	-	
(為替レート 1US\$)	108.35円	111.05円	110.00円	-	-	
(為替レート 1EURO)	118.76円	126.32円	130.00円	-	-	

## 2. 18年3月期 連結営業利益増減要因分析

#### ■ 2017年3月期実績 vs 2018年3月期予想



※営業利益:四捨五入後の数値



# 3. 18年3月期 事業セグメント別業績予想

#### ■ 連結業績予想は据え置くも、事業別予想を修正。

(単位:百万円)

2017年3				2018年3月期 前期比			期初
		通期実績	2Q累計実績	下期予想	通期予想	増減率	予想值
	売上高※注1	60,600	32,272	31,628	63,900	5.4%	61,500
チェーン	営業利益	7,102	3,712	3,268	6,980	<b>▲1.7</b> %	5,910
	営業利益率	11.7%	11.5%	10.3%	10.9%		9.6%
	売上高 <sup>※注1</sup>	21,563	11,705	11,495	23,200	7.6%	22,500
精 機	営業利益	2,218	1,301	1,299	2,600	17.2%	2,090
	営業利益率	10.3%	11.1%	11.3%	11.2%		9.3%
	売上高※注1	75,147	38,535	38,865	77,400	3.0%	77,400
自動車部品	営業利益	12,385	5,161	5,399	10,560	<b>▲14.7</b> %	11,860
	営業利益率	16.5%	13.4%	13.9%	13.6%		15.3%
	売上高※注1	41,043	20,140	22,360	42,500	3.5%	42,500
マテハン	営業利益	706	133	1,447	1,580	123.8%	1,580
	営業利益率	1.7%	0.7%	6.5%	3.7%		3.7%
その他 <sup>※注2</sup>	売上高 <sup>※注1</sup>	3,001	1,492	1,408	2,900	▲3.4%	3,800
	営業利益	<b>1</b>	<b>▲</b> 29	49	20	_	80
	営業利益率	_	<b>▲</b> 1.9%	3.5%	0.7%		2.1%

※注1 : 売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。 ※注2 : 「その他」は、報告セグメントではありません。

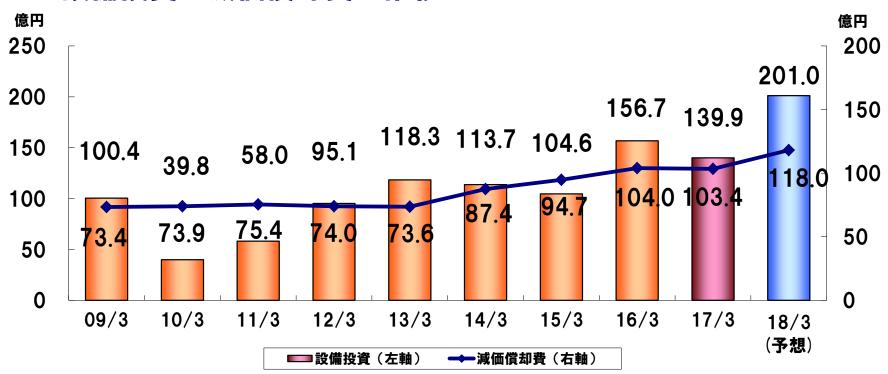


# 4. 18年3月期 設備投資・減価償却費

#### ■ 成長力強化に向けた「資本投入」

- ① 自動車部品事業のグローバル生産体制強化(埼玉、米国ほか)
- ② チェーン事業の生産設備関連(京田辺、米国ほか)

#### < 設備投資と減価償却費の推移 >



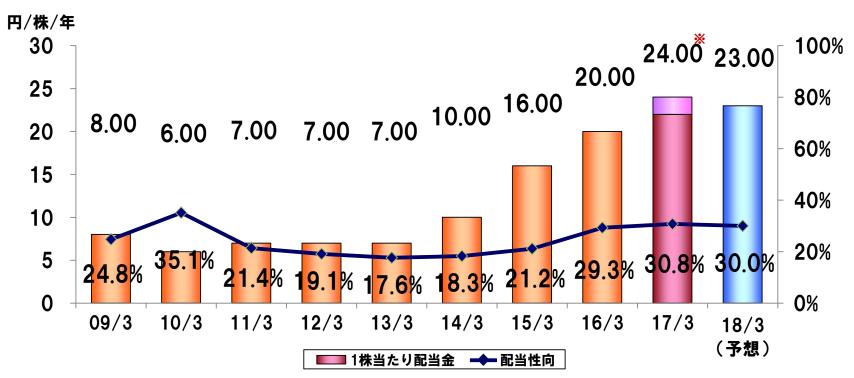


### 5. 18年3月期 株主還元

#### ■ 配当方針

・連結業績を反映した配当を基本方針とし、 連結配当性向30%を目標とした利益配分を目指す。

#### < 1株当たり配当金、連結配当性向の推移 >



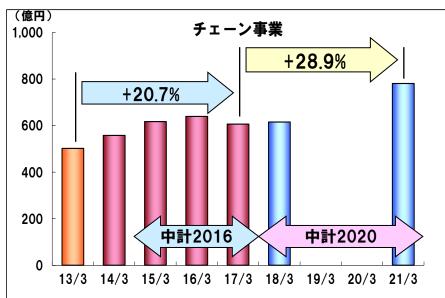
※:100周年記念配「2円」を含む



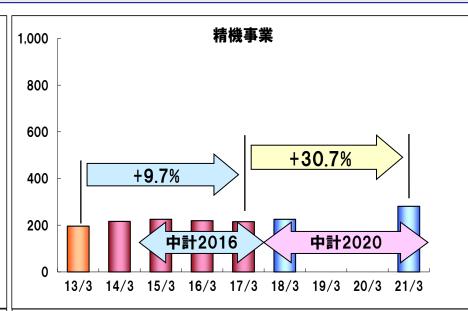
# 「中期経営計画2020」達成に向けて

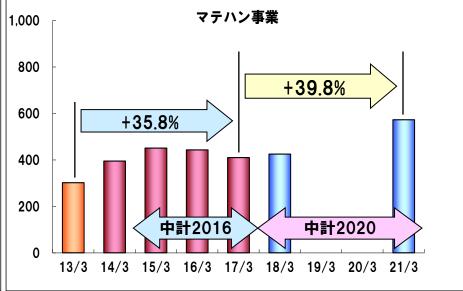


# 1. 事業グループ別の売上高推移と伸長率











# 2. チェーン事業の成長戦略

#### ■ 欧州市場におけるビジネス拡大

- ① 欧州販売体制の強化
  - ・各国販売体制の再構築
  - ・イベリア半島での販売強化(スペインに販売会社設立)
- ② 現地生産の拡大
  - ・イタリアでの小形コンベヤチェーン生産拡大



#### ■ 中国製造拠点の活用

- 1 中国市場におけるビジネス拡大
  - ・自動車、重工業(アンローダ、リクレーマ等)向け販売強化
- ② ASEAN諸国を中心とした輸出の拡大
  - ・パームオイル、ゴム手袋、セメント、製糖向けを 中心とした輸出拡大を展開中



# 3. 精機事業の成長戦略

- 減速機市場におけるシェア拡大
  - ① 新商品の開発
    - ・直交軸ギヤモータ「アクシアモータ®」など
  - ② 価格競争力の強化
    - ・生産性向上によるコストダウン(工場再編の効果)
- 制御技術の強化
  - ・IoT対応を含む新商品開発
- カムクラッチの競争力強化
  - ・ 二輪車向けスタータクラッチなど、海外を中心としたカムクラッチの競争力強化



ツバキE&Mの吸収合併







# 4. 自動車部品事業の成長戦略

- 欧州、中国市場での販売拡大
  - ① 欧州市場向け 顧客ニーズに適応する新商品開発の推進
  - ② 中国市場向け
    - ・天津工場活用による価格競争力強化
    - ・日系メーカー:シェア確保

欧米メーカー:本国プロジェクトの現地化案件対応

中国メーカー:ターゲット顧客への対応

- 非タイミングビジネスの強化
  - 1 パワートレインにおける動力伝達
  - ② 電動デバイスの駆動 など



# 5. 自動車市場の動向

#### ■ 世界各市場の動向

- アメリカ: ZEV (Zero Emission Vehicle) 規制
   カリフォルニア州内で一定台数以上自動車を販売するメーカーは、 その販売台数の一定比率をZEVにしなければならない
- ・中国: NEV (New Energy Vehicle) 規制 中国版ZEV規制導入の予定(19年=18%、20年=20%)
- ・ 欧州:内燃機関車の販売禁止

```
ドイツ → 議会で可決 (2030年)
フランス、イギリス → 発表 (2040年)
オランダ → 法案進行中 (2025年)
```

・インド:国内販売する自動車はEVのみを発表(2030年)

# 5. 自動車市場の動向

#### ■EVの種類

**B E V** = Battery Electric Vehicle

PHEV = Plug-In Hybrid Electric Vehicle

**HEV** = Hybrid Electric Vehicle



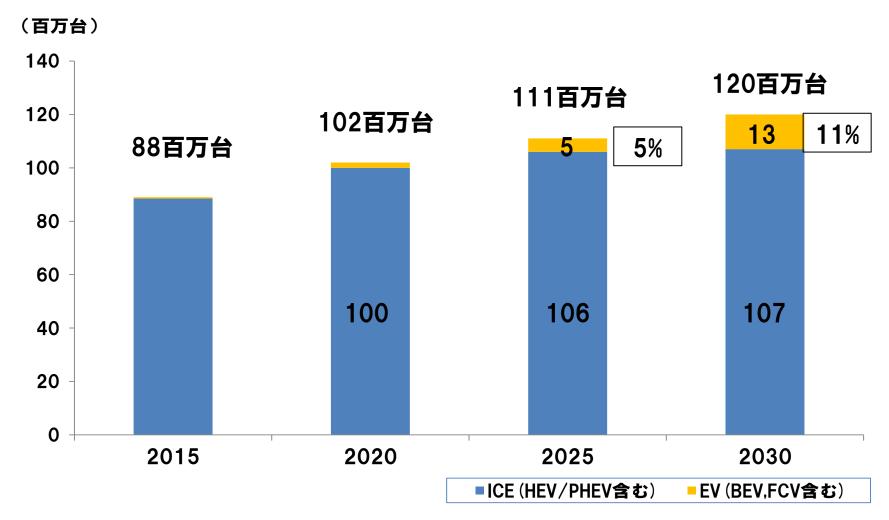
エンジン搭載

Bank C	BEV	PHEV	HEV	備考
USA	0	0	×	2018年より範囲変更
中国	0	0	×	2019年より導入
ドイツ	0	0	0	L. D. F.
フランス	0	0	0	DEF: A
イギリス	0	0	0	
オランダ	0	×	×	中間にはついているよう
ノルウェー	0	×	×	実際にはPHEV含む?
インド	0	0	0	

# 5. 自動車部品事業の市場動向

#### ■ 市場予測(内燃機関Eg vs EV)

2017年1月時点



**X** ICE = Internal Combustion Engine

Source: IHS Automotive / 富士経済



# 6. マテハン事業の成長戦略

#### ■ 新商品開発推進

- ① 流通業界向け高速自動仕分機 「リニソート® S-C」
- ② 自動車製造ライン搬送設備 「SYMTRACK®」 など

#### ■ グローバル製造拠点の活用

- ① 新マテハン工場(埼玉)建設「魅せる工場」の活用によるプロモーション、モノづくり力強化
- ② インドネシア工場の活用
  - ・チップコンベヤ/粉粒体コンベヤの製造
  - ・他社とのコラボレーション









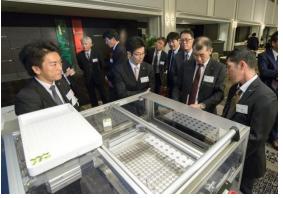
# 7. 創業100周年、モノづくりのその先へ

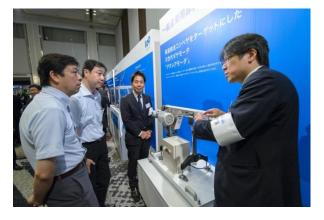
- 顧客向け「感謝の集い」を東京・名古屋・大阪で開催。
  - ~ 歴史、4事業と新規ビジネス、つばきの総合力をアピール











# 7. 創業100周年、モノづくりのその先へ

■ 企業PR活動 (広告・看板) 「動かす」分野で進化をもたらす モノづくり企業を訴求

> 2017日本産業広告賞 W受賞 第66回日経広告賞









本資料に記載している事業計画および業績予想等に関する記述は 各資料の作成時点において当社が入手している情報および合理的 であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実 現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。

